

今月の3冊 プラス +1



健康格差社会

何が心と健康を蝕むのか 第2版

著：近藤克則

発行：医学書院

定価：2860 円（本体 2600 円＋税 10%）

わが国の健康格差を放置すべきではないと早期警告を発した初版から 17 年。新たに蓄積された科学的知見や社会動向を紹介しながら、健康格差生成のプロセスがどこまで実証されたか、その到達点を描く。経済格差が拡大する中、健康格差の理解に最適な書。



母乳育児ハンドブック

編集：日本小児医療保健協議会（四者協）栄養委員会

監修：水野克己、永田智、清水俊明

発行：東京医学社

定価：4180 円（本体 3800 円＋税 10%）

日本小児医療保健協議会がまとめた母乳育児支援の書。栄養学的観点、精神・心理的側面、社会的側面から母乳育児の重要性を説き、母乳産生の基礎から母乳育児を支援するための活動まで網羅的に解説する。具体的な授乳支援の方法や健診時に役立つ知識、授乳時に問題となる服薬の影響など、実践的内容も充実。



産業保健スタッフのための実践！

「誰でもリーダーシップ」

理論・事例・ワークで身につく発揮の仕方

編：川上憲人、小林由佳、難波克行、関屋裕希、原雄二郎、今村幸太郎、荒川裕貴

著：東京大学職場のメンタルヘルス研究会（TOMH 研究会）

発行：誠信書房 定価：2640 円（本体 2400 円＋税 10%）

産業保健活動では、産業保健スタッフ 1 人ひとりがリーダーシップを発揮することが求められている。本書は、産業保健スタッフが理論や事例、ワークを通して「誰でもリーダーシップ」を身に付け、周囲の協力を引き出しながら、職場のメンタルヘルスカを向上するまでのステップアップを支援する。



10 歳からの学校では教えてくれない健康とからだ

監修：野口緑 発行：池田書店

定価：1760 円（本体 1600 円＋税 10%）

スーパー保健師が、子どもたちが気になるからだやこころに関する悩みに答える。大人になる前に知っておきたい「からだの基本」「こころとの向き合い方」「親や先生に話づらい二次性徴について」などが、マンガやイラスト、短く分かりやすい文章によって語られる。10 代が自分を理解するのを助ける本。